

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年 5月 21日 (木)

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアN (図1)
- ・淡水化装置RO3 (図1)

3 確認項目

- (1) 瓦礫類一時保管エリアNの状況
- (2) 淡水化装置RO3の状況

4 確認結果の概要

(1) 瓦礫類一時保管エリアNの状況

東京電力は、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指している。その一環として、瓦礫類一時保管エリアN (以下「エリアN」という。)においてノッチタンクに保管されている汚染土壌[※]を別の保管容器に入れ替え、固体廃棄物貯蔵庫へ運搬する作業が実施されている。

県では、令和7年6月末の作業開始以降、作業の状況を適宜確認しており、今回、その進捗状況及び安全対策の実施状況等について確認を行った。(前回確認：[令和8年4月2日](#))

- ・現地確認時点において、汚染土壌の入替作業は行われておらず、作業用重機及び資機材は整頓された状態で仮置きされていた。確認した範囲において、重機からの油の漏えい等の異常は認められなかった。(写真1)
- ・現地確認時は降雨により床面が濡れていたものの、確認した範囲において、ノッチタンクからの内容物の漏えい等の異常は認められなかった。(写真2)
- ・東京電力によると、4月末までに351基中40基の入替作業が完了しており、計画に沿って進捗しているとのことであった。

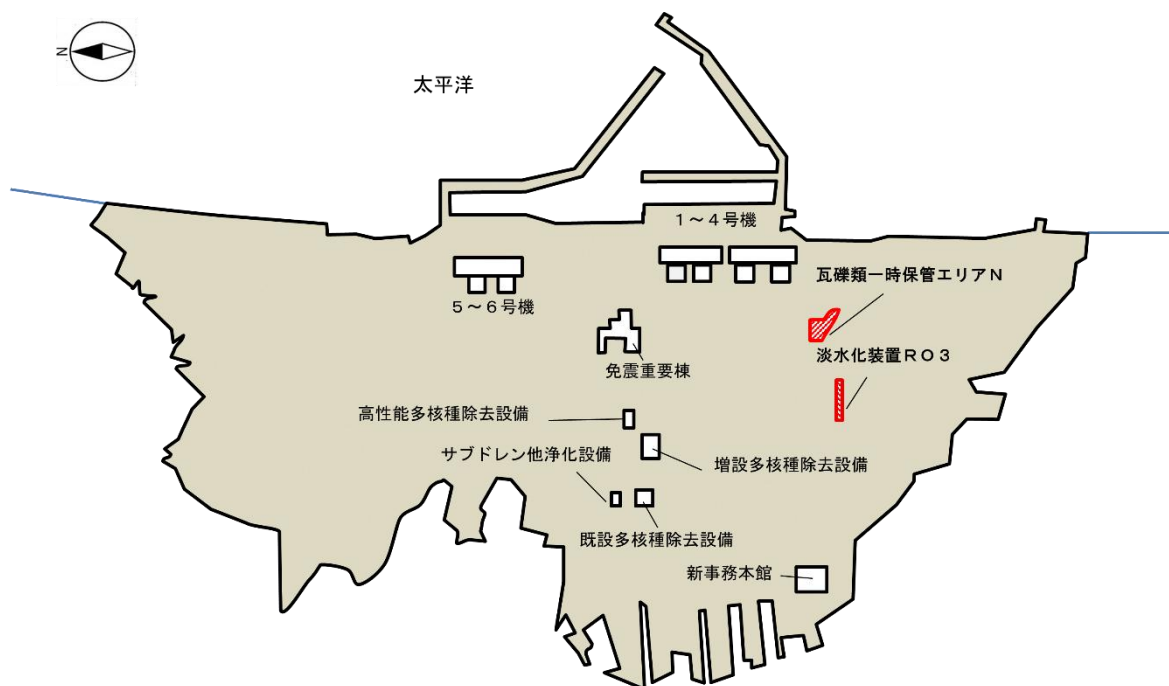
※ 平成25年及び平成26年に発生したタンクエリアからの汚染水漏えいにより汚染された土壌。これらの土壌は土のう袋に回収され、ノッチタンクに入れて保管されている。

(2) 淡水化装置RO3の状況

淡水化装置RO3は、原子炉注水用の淡水確保を目的に設置されている施設であり、建屋滞留水に含まれる塩分の除去に使用している。

今回は、淡水化装置RO3で実施されている保全作業の状況を確認した。(前回確認：[令和8年2月26日](#))

- ・現地確認時において、淡水化装置RO3は停止しており、予防保全として一部のポンプや弁等の更新が行われていた。(写真3)
- ・装置全体を覆っている建屋カバーを確認したところ、破れ、雨漏り等の異常は認められなかった。(写真4)
- ・確認した範囲において、配管、設備等からの漏えい等の異常は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
重機の仮置き状況



(写真1-2)
資機材の仮置き状況



(写真2)
ノッチタンクの保管状況



(写真3-1)
更新されたポンプの設置状況



(写真3-2)
更新された弁の設置状況



(写真4-1)
更新された建屋カバーの状況①



(写真4-2)
更新された建屋カバーの状況②
※骨組みは錆落とし及び再塗装が行われた

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。